※令和４年度以降入学生用

学校番号	2004

令和５年度　芸術科

教科	書道	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書道Ⅰ　（教育出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小中学校の書者で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違いなどを学ぶ。
・古典を学び様々な技法や表現方法を学ぶ。名筆を生かした表現や豊かな発想により自分なりの表現で作品を制作する。
・書道展等への出品や身近に飾れる作品を制作し、書を生活の中に生かすことで達成感を味わい書を愛好する心情を育てる

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化を幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。
1. 書の表現の方法や形式・多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
2. 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
3. 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生涯や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書写と書道	・国語科書写と芸術科書道の違いについて学習する ・「風」や「花」の字を使い、同じ書でも書風の違いにより異なった表現になることを理解する。	a：書写書道の類似点・相違点について理解し、書写での基礎・基本を踏まえ表現技法を工夫している。 b：書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している c：書写と書道の類似点・相違点について興味を持ち、意欲的に取りくもうとしている	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート
	篆刻	・篆刻の用具、用材や創作の手順について理解し、篆刻の仕方について学習する。 ・姓名印を作る。	a：用具用材に関する知識や、道具の扱い方を理解している。 b：篆刻の美しさを理解し表現を工夫している c：落款の意味とその役割、篆刻の意義と技法について理解し意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 活動の様子	活動の様子 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート
	デザイン書	書風の構成要素 字形、線質、字配りの理解、 仮想看板 商品のポップ 名言、漢字等 効果的、魅力的に伝えるための表現を探り、制作意図に合った作品制作を行う。	a：書風の構成要素を理解し、物のもつイメージに合わせた表現技法を身につけている。 b：表現のねらいを達成するために、効果的、魅力的に伝えるための構成要素を工夫している。 c：表現の構想から完成にいたるまで、意欲的・主体的に表現活動に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	文化祭作品制作	創作 ・半切２分の1作品 （デザイン書） 題材を決め、これまでに学んだ技術や表現方法をいかした作品制作 表具 ・色紙作品 ・団扇 ・オリジナルＴシャツなど コンクール、書道展へ出品	a：創造的な書表現をする為に用具用材、線質、字形、全体の構成などの表現方法を理解し、技能を身に付けている b：自己の表現の狙いを達成する為に表現を構想し工夫している。 c：創造的な表現をする為に、創作参考作品等を鑑賞してその美しさや良さを感じ取り、意欲的、主体的な表現に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート
二学期	実用書	漢字、平仮名（楷書と行書） 漢字仮名交じり	a：国語科書写で身につけた基礎的な能力、技能を身につけている。 b：日常生活でのペン字の効用について理解し、基礎的な技能をいかして表現している c：主体的、意欲的に美しく整えて書こうとしている	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート
	漢字の書	鑑賞・臨書・表現 （楷書、行書） ・孔子廟堂碑 ・九成宮醴泉 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 ・牛橛造像記 ・蘭亭序 各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞、臨書・表現する。 ・半切臨書作品等	a：楷書、行書の古典の美とその技法について理解し、基本的な点画や線質の表し方、用筆・運筆の技能を身につけている b：字形の構成や変化と統一などを理解し表現を工夫している c：古典の美とその技法に関心をもち、意欲的、主体的に表現技法を高めようとしている	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	仮名の書	仮名について 鑑賞・臨書・表現 ・用具用材、姿勢、執筆法の理解 ・いろは単体　変体仮名 ・連綿 ・蓬莱切 ・高野切 ・紙面構成 散らし書き 鑑賞、臨書を通して構成美や、墨量による表現の工夫等を理解する。	a:仮名の書の成立と、運筆の律動性や筆脈の把握を通して、仮名の美の特質を理解し、その基礎的な技法を身につけている。 b: 仮名の表現技法の基礎基本を身につけ、表現を工夫している c：仮名古筆に関心を持ち、意欲的、主体的に表現しようとしている。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート
	漢字仮名交じりの書	創作 意図やねらいに合う古典を参考にし、これまでに学んだ技術や表現方法をいかして作品制作。 ～自らの思考や感動を表現できる語句を選ぶ～ 全紙2分の1 書の美の要素の理解 ・墨の濃淡 ・線質の調和 ・字形 ・用具用材による表現の違い ・様々な紙面構成など	a: 創造的な表現をするために、用具・用材・線質・字形・全体の構成などの技能を身につけている b: 自己の表現のねらいを達成するために、自らの表現意欲を高め、用具・用材・線質・字形・全体の構成などについて工夫している。 C：表現の構想から完成にいたるまで、意欲的・主体的に表現活動に取り組もうとしている	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度